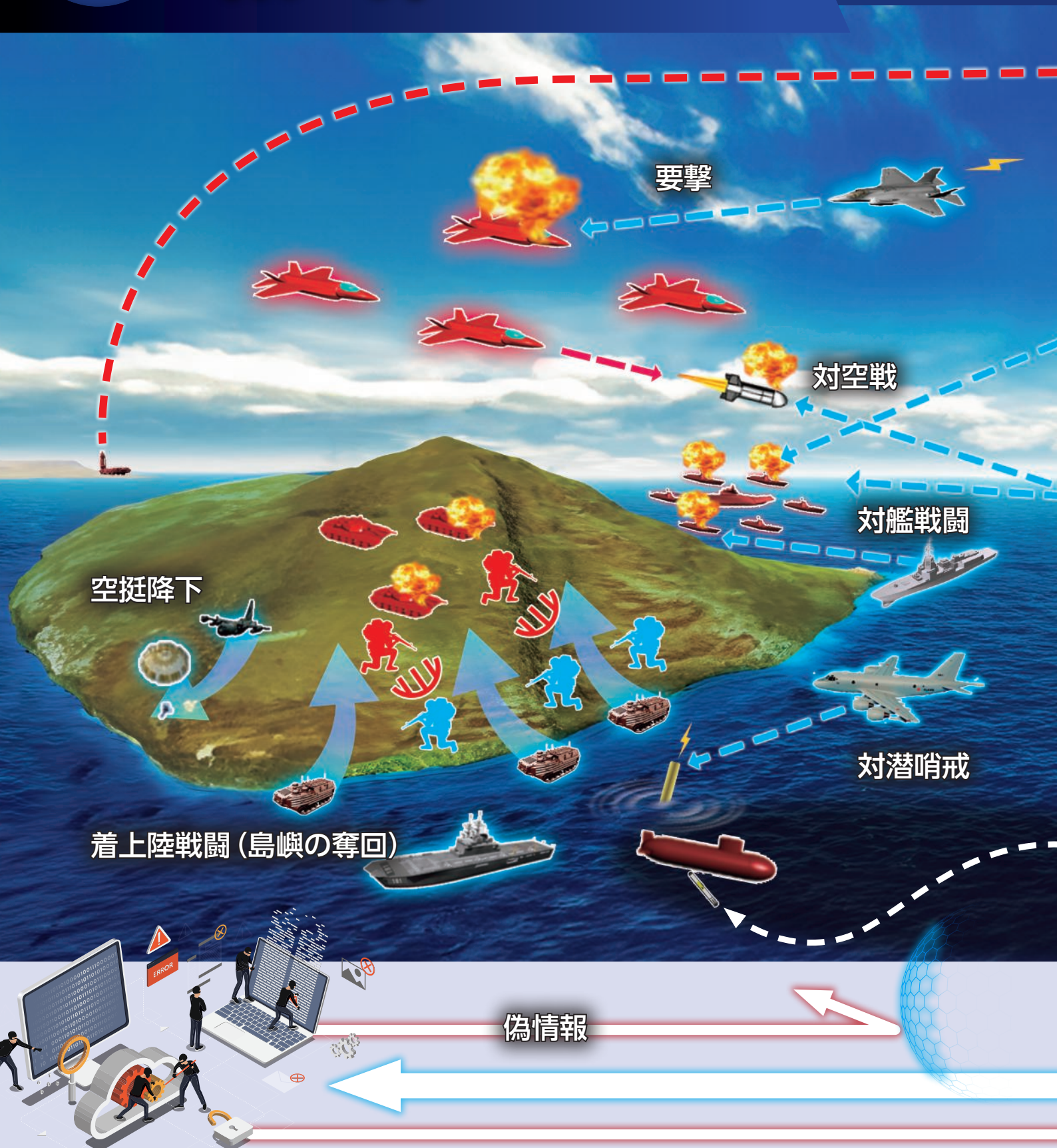


統合作戦司令部と統合作戦 (イメージ)



2025年3月24日、防衛省・自衛隊に統合作戦司令部が新設されました。

統合作戦司令官は、自衛隊の運用に関し、大臣の命令を受け、陸・海・空自の主要部隊や、宇宙やサイバー領域などで活動する部隊を平素から一元的に指揮し、事態の状況や推移に応じた柔軟な防衛態勢を迅速に構築します。また、作戦全般を掌握し、最適な防衛力を配分することにより、迅速かつ効果的に統合作戦を行います。



統合作戦司令部と統合作戦（領域横断作戦を具現する自衛官の声）

統合作戦司令部、始動！

統合作戦司令部は、平素から有事まであらゆる段階においてシームレスに領域横断作戦を実現する日本で唯一の部隊として本年3月末に新設されました。本司令部の新設により、防衛大臣の命令の範囲内において、平素においても自衛隊の運用に関する指揮を統合作戦司令官に一元化できるようになることから、以前にも増して各種事態に迅速かつ円滑に対応することが可能です。

具体的な指揮のイメージとしては、ある事態が発生した際、防衛大臣の命令を受けた統合作戦司令官は、作戦の遂行に最も適した指揮官に対して具体的に実施すべき任務を付与します。この際、同時に複数の作戦を実施中の場合は、統合作戦司令官は作戦全体のバランスを考え、個々の作戦に対して部隊などを再配分するなどし、作戦全体の流れをコントロールして、与えられた任務を達成します。

わが国の平和と独立を守るため、統合作戦司令部は、自衛隊の運用を一元的に指揮して、与えられた任務を達成するという重責を、今この瞬間から全力で果たす所存です。



司令部の横断幕をバックにする筆者

2等陸佐 岡本 知力羅

- 1 統合幕僚監部防衛計画部計画課 統合作戦司令部準備室(当時)
- 2 防衛省市ヶ谷地区(東京都新宿区)
- 3 -

1

2

宇宙領域把握に従事する隊員の声

国境の概念がない宇宙領域において、各国の活動は加速しています。防衛省においても2026年度にSDA衛星の打ち上げが予定されるなど、宇宙作戦群の果たすべき役割の重要性はこれまで以上に増えています。

以前、私は輸送員として勤務していましたが、新たな分野に挑戦しようと思いつき宇宙特技への転換を志望し、当初、府中基地にある宇宙作戦隊（現第1宇宙作戦隊）で1年間勤務した後、現在、防府北基地にある第2宇宙作戦隊に配属され、2年目になります。

両隊では宇宙関連システムの運用と日本の人工衛星に対する妨害状況を把握するための装置の運用に携わっていますが、宇宙空間の監視・把握はますます重要になり、私たちの任務も日々進化しており、先駆者として未知の課題に挑み乗り越えていくことが求められます。

私たちの努力が結実することを信じ、誇りをもって使命を果たしていきます。

2等空曹 田中 とも

- 1 宇宙作戦群第2宇宙作戦隊
- 2 防府北基地(山口県防府市)
- 3 宇宙



様々な知見を有する隊員と意見交換する筆者(一番右)



装置展開のための車両操縦をしている様子

3

統合作戦における高射部隊の役割について

高射隊はペトリオットシステムを運用し、統合運用のもと航空機や弾道ミサイルなどの空からの脅威からわが国を防御することを主な任務としています。

私は昨年度実施された日米共同統合演習に参加し、統合作戦の重要性和多国間連携の難しさを実感しました。また、昨年度米国で実施された実弾射撃訓練では、陸自との協同射撃訓練に臨み、緊密な連携のもと行われる射撃の緊張感を肌で感じました。

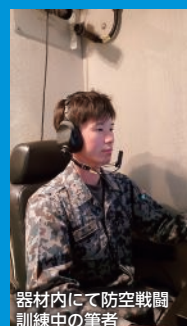
昨今の情勢を踏まえ、統合防空ミサイル防御の重要性が高まるとされる中、その一端を担う高射部隊の隊員として日々の訓練に励み、任務完遂に向けて尽力したいと思います。

3等空曹 宮崎 ともひろ

- 1 北部高射群第24高射隊
- 2 長沼分屯基地(北海道長沼町)
- 3 高射操作



発射機へのミサイル搭載訓練中の筆者



器材内にて防空戦闘訓練中の筆者

統合作戦司令部の指揮・統制のもと、
領域横断作戦を具現する隊員の声を聴きます。

陸上 海上 航空

階級 氏名

1 勤務部隊等 3 職種・職域
2 所在地



水陸両用作戦部隊としての任務

私は、海自の水陸両用作戦担任部隊である掃海隊群で勤務しています。水陸両用作戦は、必要な時に海上から陸上へ部隊を上陸させる作戦であり、陸自・空自と連携しながら作戦を遂行します。一方、災害発生時には、上陸用ホバークラフト(LCAC)などにより孤立被災地域に海上から救援物資などを届けるといった活動にも従事します。昨年、インド太平洋方面派遣訓練に参加した際には、タヒチやハワイを訪問し、他国軍とともに両用戦や災害派遣の訓練を行いました。



陸自、他国軍と共同する筆者(左)

水陸両用作戦を行う陸海空の各部隊には、異なる組織の能力を結合し目的を達成するため、自らの部隊に誇りを持ちつつ他の組織を尊重し、協力して任務に当たる「統合マインド」が根付いていると実感しています。このような意識を自衛隊全体に広げることで統合作戦の発展に寄与できると考えます。



輸送艦に着艦する陸自ヘリと
続航するLCAC

3等海佐 あおやま こうへい
青山 昂平
1 掃海隊群司令部
2 横須賀地区(神奈川県横須賀市)
3 両用戦幕僚B

4

5

領域横断作戦能力向上のために

統合作戦では、陸・海・空の一体的な運用に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった領域との連携が重要であり、領域横断作戦能力の向上は必要不可欠となっています。電子戦部隊は電波情報の収集・分析を行うとともに、相手方の指揮統制・情報共有のための通信(人間でいう口や耳)や自衛隊の行動を早期に察知するためのレーダー(人間でいう目)の能力を低減・無効化することにより、他の領域における能力が劣勢な場合においてもわが国の防衛を可能にします。私は、各種訓練を通じ、収集した電波情報の分析や海・空の電子戦部隊と必要な調整や検討を行っており、陸・海・空自が一体となった電磁波運用の重要性について強く感じている中、統合作戦司令部の新設による新たな体制のもと、統合作戦の実効性強化の一端を担っていきたいと思っています。今後も日々進化する軍事技術や動向に注目し、任務に邁進していきます。



収集・分析した電波情報を報告中の筆者



空自電子戦部隊と意見交換する様子

1等陸尉 はしもと ゆきひろ
橋本 将啓
1 電子作戦隊
2 朝霞駐屯地(東京都練馬区)
3 システム通信科

6

サイバー空間の第一線を守るものとして



オープニングセレモニーに
出席中の筆者(一番左)

私は現在、自衛隊サイバー防衛隊において、SOC(セキュリティオペレーションセンター)員として各種サイバー攻撃に対処しています。

昨年ベトナムにおいて実施されたサイバーセキュリティ分野における能力構築支援事業に教官要員として参加する機会を得ました。これは、ASEANを含むアジア各国とともに、各種サイバーセキュリティに関する知識・技術の向上を図り、参加国との協力関係を強めるという活動です。各国のサイバー要員への教育を通じて、英語による専門知識の伝達と、各国がいかにサイバーセキュリティを重視しているかを知るといった非常に貴重な経験を得ることができました。

私は、入隊時サイバーセキュリティの知識も英語能力もありませんでしたが、それらは自衛隊の教育で身につけ、海外での任務にも活かすことができています。

今後も、サイバー空間の第一線を守るという志を持って勤務していきたいと思っています。

2等陸曹 非公開
1 自衛隊サイバー防衛隊
2 非公開
3 非公開



ASEAN諸国の参加者に
実技指導をする筆者(一番左)